

アメリカ合衆国大統領

バラク・フセイン・オバマ 殿

アメリカ未臨界核実験に強く抗議する

米国政府が9月15日ネバダ州の地下核実験場で未臨界核実験を実施したことが10月12日明らかになった。

私たちはこの未臨界核実験に強く抗議する。

あなたが、包括的核実験禁止条約（CTBT）発効を重要課題として位置づけることを表明してきたこととも矛盾するものである。また、あなたは、昨年4月核兵器を使用した唯一の国としての「道義的責任」にふれ、「核兵器のない世界」のための行動を呼びかけたが、今回の行為はその責任に逆行する暴挙である。

私たちは、断じて許すことができない。

今年5月に行われたNPT再検討会議では、「核兵器のない世界の平和と安全を達成する」ことを目標とする最終文書が採択されたが、これには貴国も賛成した。

今、「核兵器のない世界」にむけた「枠組みづくり」がはじまっている最中だけによけいに許せない暴挙と言わなければならない。私たちは、広島、長崎の惨禍を体験し、原水爆禁止を一貫して求めてきた国民として、未臨界核実験を含むいっさいの核兵器実験、開発計画を即時中止するとともに、核兵器廃絶条約の交渉を開始し、締結することを強く求める。

以 上

2010年10月14日

原水爆禁止山梨県協議会

〒400-0025 甲府市朝日5-7-2

(平和と労働会館3F)